



多文化共生時代の福祉を考える

こころの家族

No.359

2024年9・10月



故郷の家を訪問、すばらしい歌声を披露したオモニコーラスのみなさん(9ページに記事)

卒園生の死

8月のある日、韓国木浦共生園の卒園生が自動車事故で亡くなったという知らせが入った。

児童養護施設で育った子どもたちには親がいる場合もあるが、亡くなった李ジヒョク君は31歳で親族は誰もいない。幸い彼が通っていた教会で葬儀の準備を進めているという連絡だった。

死亡届など葬儀の手続きは共生園の職員たちがすすめて、葬儀は故人が通っていた信奉中央教会でキム・ギョンス牧師ご夫婦とチョン・エラ園長が務めた。

早朝7時20分、棺は火葬場に行く前に共生園に立ち寄り、子どもたちと職員たちの祈りに護られて送ることができたと言う。

父・尹致浩(ユン・チホ)と母・田内千鶴子を思い出した。

父・尹致浩は旅の途中で病気になったホームレスの老人に出逢った時、宿に連れて帰り一晩寝かせた。

ところが、翌日亡くなってしまった。父は棺を用意して、名前も知らないその人のために静かなところにお墓を作り、「尹致浩の父の墓」と書いて葬った。

母・田内千鶴子は、戦争孤児が増えていく中、栄養失調で亡くなっていく子どもを横に寝かせて一晩一緒に過ごした。

児童文学者・尹石重先生は、生前私にこのような歌を寄せてくださった。

お父さんのお父さんのお父さんは誰でしょう。
お母さんのお母さんのお母さんは誰でしょう。

遡って見れば、我らの先祖は一つ。

親がいない人を孤児というなら、親がいない大人も孤児ではないでしょうか。

共生の道を開拓していくと、地球村は一つの家族であることがわかるでしょう。

社会福祉法人こころの家族
尹基 (Tsuchi Moto)

雲史ホールで日・中・韓 新進作家の作品展示

2~3p

インタビュー

至誠学舎立川前理事長 橋本正明・ライヤさんご夫妻

6~7p

追悼.....3p
今秋、各施設で多文化フェスティバル.....4p
京都でブネ音楽療法セミナー.....4p
スイーツ作りに挑戦/「男志会」.....4p

「日・中・韓の青年がつくっていくものがたり」

故郷の家・京都の雲史ホールで「日・中・韓の青年がつくっていくものがたり」と題した展覧会が開かれます。

本年5月、ソウルで開催された第9回日・中・韓サミットにおいて、「日・中・韓の協力を拡大し、若者を中心とした重層的な人的交流や3か国の文化交流に力を入れていく」との共同認識が持たれました。2025年及び2026年を「日・中・韓文化交流年」とするという構想も含まれています。こころの家族はこれに強く共感、今回の展示会の企画が生まれました。

新進気鋭の作家3人が出展

参加する作家は岡本秀(日本)、柳濟閔(リュ・ジェユン)(韓国)、方圓(中国)の3人。いずれも作家活動歴が10年以下の新人作家であり、それぞれ自国の大学を卒業した後、日本所在の大学院で修士課程を修了、それぞれ現在、関西を拠点として制作活動を展開しているという共通項を持つ新進気鋭の作家です。ぜひ足をお運びください。



方圓(ほう えん) FANG YUAN

1989年中国北京生まれ。2011年北京工業大学アート&デザイン学部グラフィックデザイン専攻卒業、2015年武蔵野美術学院日本画学科修了、2020年京都造形芸術大学修士課程美術工芸学科日本画専攻修了。
2011年 中国 遊夢想国際大学卒業制作コンペティション二等賞受賞、2019年第46回創画展入選、2020年 Kyoto Artists fair 2020、2020修了制作『蚕馬』栗和田賞受賞、佐川美術館買い上げ、2023年芥川龍之介「蜜柑」を描く展 小木曾審査員特別賞 受賞、2024年 Kyoto Artists' Fair 2024 Hankyu Art Fair 2024、三越伊勢丹・千住博日本画大賞入選。



岡本 秀(おかもと しゅう)

1995年奈良県生まれ。2020年京都市立芸術大学大学院修士課程絵画領域日本画専攻卒業。
2018年2月「京都市立芸術大学作品展 2018」市長賞、2018年5月「清須市第9回はるひ絵画トリエンナーレ」優秀賞、2018年10月「シエル美術賞 2018」入選、2021年3月「VOCA展 2021 現代美術の展望・新しい平面の作家」佳作賞・大原美術館賞。個展、グループ展多数。

柳濟閔 リュ・ジェユン / RYU JEYUN



1990年韓国出身。2009年韓国陶芸高等学校卒業、2015年慶熙大学校陶芸学科学士卒業、2019年京都市立芸術大学陶芸専攻研究留学生課程修了、2021年京都市立芸術大学美術研究科陶芸専攻修士課程修了。
2021年「意志的なものと無意志的なもの」/ 을지로오브, ソウル「OBJECT 2021-object & book-」/ ロームシアター(京都)、2022年「セラミックマウンテン展」Kumagusu / アートホステル(京都)、「日本現代陶芸の応答と対比」/ SOKYO ANNEX(京都)、2023年「ART OSAKA 2023」/ 大阪中央公会堂、「ART TAIPEI 2023」/ 台北世界貿易センターほか各地で活躍。

会期 2024年9月3日～20日 10時～17時
会場 雲史ホール(故郷の家・京都内)
問い合わせ 河明求(ハミョング) 造形芸術学博士 こころの家族 福祉文化担当)
TEL. 075-691-4448 FAX. 075-691-4424 E-mail: busut2@gmail.com

中川和雄先生へ

8月15日には、池田市の元衆議院議員故・原田憲先生の墓前に、妻と、ご子息である原田憲治先生ご夫妻とともにご参りをし、中川和雄先生の訃報と、ご紹介して下さいましたことへの感謝の報告を致しました。

こころの家族の皆様と共に、先生にご挨拶申し上げます。

1985年に在日韓国老人ホームを作る会が発足したとき、初代会長を引き受けてくださったのは、金山政英・元駐韓日本大使でした。その後、原田憲先生に引き継がれ、さらに中川先生へとバトンが手渡されました。

「私の後を継ぐのは君だ。社会福祉事業法の策定に携わった中川にやって欲しい」と、敬愛する原田憲さんから直接言われたと、おっしゃっていましたね。

先生が「在日韓国老人ホームを作る会」の会長になられて建てて下さった「故郷の家・神戸」「故郷の家・京都」の職員や利用者の皆様は、多くの人々の心を集めてこの施設を先生方が建てて下さったことを知り、驚き、感謝しています。

先生、本当にありがとうございます。お礼を申し上げる機会もないまま、先生は神様のお召しに応じて天国に先立たれました。



先生は人間愛の星でした。先生が力を入れて下さった施設では、在日コリアン高齢者と日本人が仲良く暮らしておられます。地域からも喜ばれ、韓国からの見学も多くなりました。

故郷の家に希望と平和が満ちているのはひとえに先生のお陰です。

天国では、私の母も先生に感謝を述べたと思います。これからも、心から心へ善意を伝えるこころの家族になるよう頑張ります。

愛と平和と喜びが常に先生のものでありますように。

田内 基

元大阪府知事で、在日韓国老人ホームを作る会会長を務めるなど、こころの家族の良き理解者であった中川和雄さんが本年7月29日、逝去されました。享年97歳。

中川さんは1926年(大正15年)京都市生まれ。東京大学法学部政治学科卒業後、厚生省に入省、社会福祉事業法の策定に携わるなど手腕を発揮。57年大阪府庁に入庁、83年大阪府副知事。91年～95年大阪府知事。

2008年、日韓の友好と親善に貢献した人に授与される「韓国修交勲章崇禮章」を受賞。大阪日韓親善協会会長や財団法人関西棋院の理事長、日本視覚障害者囲碁普及会会長など、数々の要職を歴任。また、在日韓国老人ホームを作る会会長(1998～2009年)、顧問、こころの家族顧問を長く務めてくださいました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

「愛の黙示録」制作に参加

佐野良一さんご逝去



日韓の文化交流に貢献、映画「愛の黙示録」プロデューサーとして参画もした佐野良一さんが7月13日、逝去

されました。享年74歳。

1950年大阪生まれ。韓国語を学び、韓国日報の記者を務める一方、文化プロデューサーとして活動開始。この間、趙容弼(チョー・ヨンピル)の日本デビューも手がけました。

韓国日報退職後は韓国でイベントプロデューサー、韓国宮中飲食研究家として活躍。田内千鶴子の生涯を描いた「愛の黙示録」(1995年、金洙容監督)にもプロデューサーとして参画。その後もミュージカル「地下鉄1号線」、「洗濯(パルレ)」の日本公演などに携わりました。

2001年に脳内出血、以後車椅子生活となったものの執筆や翻訳活動を継続。2017年から故郷の家・東京に入居後も闘病の傍ら施設内で韓国飲食文化の講座を開くなどされました。プロデューサー作品、編著書多数。2022年5月、受洗。

心よりご冥福をお祈りいたします。

♪ 10月5日に故郷の家・京都で ブンネ・メソッドセミナー

故郷の家各施設で導入されているスウェーデン音楽療法のブンネ・メソッドセミナーとコンサートを開催します。スウェーデンから講師を招きブンネ楽器を手にとって体験するセミナーです。一緒に楽しみませんか？

ステン・ブンネ氏により開発されたブンネ・メソッドは、ブンネ楽器を使用することで従来の音楽療法に比べ遥かに広範囲に高齢者や障害者(児)が音楽活動ができるような可能性を与えます。音楽の専門家ではない、ケアに携わる看護・介護職員でも気軽に音を出せ、利用者が主体的にかつ創造的に関わられる新しい楽器を用いた方法です。

日時 2024年10月5日(土)

14時～16時

○14時～15時

講演「練習しなくても誰でもすぐにミュージシャンになれて音楽を楽しめるブンネ・メソッド」講師 アンダース・モス

○15時～15時45分

プロミュージシャンによるコンサート、ブンネ・メソッドの紹介

○15時45分～16時 体験

場所 故郷の家・京都 雲史ホール

参加費 無料

問い合わせ・申し込みは故郷の家・京都

TEL 075-691-4448 (担当・総務課)



毎月第2火曜に開催される活動には修了生や活動に興味を持った地域の男性が集まり現在、「スイーツ男子」を目指しクレープやクッキー作りに挑戦。70歳代から80歳の参加者全員スイーツ作りは初めて。センターの職員の天満佳奈さ

クレープや クッキー作りに挑戦

ターが企画した「男の台所(料理教室)」の修了生たちが「このまま終わりたいくない」と結成した会です。月に1回の活動を同センターがサポートし、8月で6回目を迎えました。

8月13日に開かれた活動日には6人が参加。米粉を材料にしたパンケーキ作りにチャレンジすると「食感がちがう!」と、自作ケーキに目を輝かせていました。同会には目標があります。スイーツ作りの腕をあげて、活動の場としている神経難病や末期がんの方のためのシェアハウス「LYKKE(リュッケ)みいけ」でカフェを開くことです。この目的に向かってみな、生き生きと計量器に向かい、活動日を待ちわびています。

ターが企画した「男の台所(料理教室)」の修了生たちが「このまま終わりたいくない」と結成した会です。月に1回の活動を同センターがサポートし、8月で6回目を迎えました。

南第二包括「男志会」楽しんでいます

このころの家族が運営する南第2地域包括支援センター(堺市南区)で今年3月からスタートした「男志会」。同セン

ターが企画した「男の台所(料理教室)」の修了生たちが「このまま終わりたいくない」と結成した会です。月に1回の活動を同センターがサポートし、8月で6回目を迎えました。

ん(保健師)の指導の下、準備から調理、どのように盛り付けたらおいしそうに見えるのか?などを研究しながら楽しんでいます。

今年も 多文化フェスティバルで会いましょう!

故郷の家・各施設の今年の「多文化フェスティバル」の日程が決まりました。この一年の皆様のご支援に感謝するとともに地域の方々との大切なふれあいの場となる多文化フェス。各施設からの「ひとことアピール」をどうぞ!

▶故郷の家・京都(10月26日開催)

故郷の家・京都は15周年となります。屋台、物産など、たくさんのお店を出店予定です。地域の方々、ご入居者及びそのご家族など、日頃の感謝の気持ちを込めて、皆さんが楽しめるイベントを開催します。

▶故郷の家(11月5日開催)

故郷の家(堺)は、今年35周年を迎えます。ホールのイベント、屋台など、地域の方どなたでも、お越しいただき、一緒にお祝いしたいと思います。

▶故郷の家・東京(11月9日開催)

夏たけなわですが、故郷の家・東京ではもう11月の「多文化フェスティバル」に向けて動き出しています。現

在の職員国籍は韓国、中国、フィリピン、ベトナム、ミャンマーと国際色ゆたか。万国旗のもとに民族衣装?料理は?歌・踊りは?…と、お国の自慢話に花を咲かせながら、地域のコミュニティを巻き込んでの計画に余念がありません…お楽しみに!

▶故郷の家・神戸(11月16日開催)

故郷の家・神戸の多文化フェスティバルでは地域住民、ご家族、ご利用者、職員が日・韓の文化やベトナム、フィリピン、タンザニアの多文化を楽しめる日で、楽しめる場となるように多国籍の職員が民族衣装を着て屋台、物産店などのイベントを準備します。



▶星野富弘さんの偉業を讃えます。神様に導かれご家族の支え…すばらしい詩や画を創られました。／表紙のおふたりの笑顔、心なごみます。7 ページ、神戸のファッションショー。なんとすてきな！／「ちょっと一言」のような韓国語を教えてくださいました！（奈良県・T様）

▶いつもこころ温まる情報をありがとうございます。（奈良県・M様）

▶主の聖名を賛美いたします。目まぐるしく変わっていく世界情勢の中にあっても、いつも変わらない神様の平安の内に守られ、元気に楽しく明るく幸せにお暮らしくございますよう、皆様を覚えてお祈りしております。（大阪府・O様）

▶日々平安でありますように、お祈り申し上げます。（奈良県・K様）

▶毎回、「こころの家族」の冊子を楽しみに読ませていただいております。修道会では、日韓の祈りを毎日唱えて心を合わせてお祈りしています。冊子にクロスワードパズルがあったので、シスターたちと頑張って解いてみました。（長野県・S様）

介護予防やリハビリに！

ワンポイント体操

故郷の家 機能訓練士 中橋 学

股関節のストレッチ

今回は立ち上がる時、歩行時の股関節部の痛みに対してのストレッチをお伝えします。股関節にはとても多く筋肉がついているのでいろいろなストレッチがありますが、その中でも立ち上がり・歩行時の痛みに対して有効なストレッチをお伝えします。

立ち上がりでの痛みに対してのストレッチ

- ①足を肩幅に開き、少しおなかを前に突き出すように立つ
- ②腰に手を当て10秒ほどかけ、体幹を後ろに反らせる（首も同時に反らせる）

※膝を曲げない
膝を曲げずに大腿部の前面・お腹が伸びてくるところで止める（10秒）
フォームを意識しながらこの動作を3～5セット行う。



歩行時の痛みに対してのストレッチ ※右側を伸ばす場合

- ①足を交差し、右手を真上にあげる（右足を左足の後ろに、右の手のひらは体の外側に向ける）
- ②体幹を左側に倒す（体を捻らない）
- ③足の外側・腰の側面が伸びてくるところで止める（10秒）

フォームを意識しながらこの動作を左右3～5セット行う。



ヘルシーな韓国料理

ブロッコリーのナムル

故郷の家 管理栄養士 柴田 智絵

今回は、2026 年度から「* 指定野菜」に追加されることで話題の、ブロッコリーを使った簡単な一品をご紹介します。

ブロッコリーは日本人が不足しがちな鉄、食物繊維、カリウム、たんぱく質を豊富に含んでいます。たんぱく質の含有量は野菜の中でもトップクラスです。栄養豊富なブロッコリーが、安定して購入できることはありがたいですね。

* 指定野菜：消費量が多いため、価格や供給の安定を図る目的で農林水産大臣が指定した野菜のこと。ブロッコリーは52年ぶり15品目となる。



材料（2人分）

- ・ブロッコリー …………… 150g
- ・韓国のり …………… お好みで
- ☆ごま油 …………… 小さじ1/2
- ☆鶏がらスープの素 …… 小さじ1/2
- ☆すりごま …………… 大さじ1
- ☆おろしにんにく …… 小さじ1/4

作り方

1. たっぷりのお湯を沸かし、塩（分量外）を加えて小房に分けたブロッコリーを茹でる。（電子レンジで加熱するのもおすすめです）
2. ザルに上げ、水気をしっかりと切る。
3. ボウルに☆と、1で茹でたブロッコリーと、ちぎった韓国のりを加えてよく和える。
4. お皿に盛り付けたら完成。

福祉の先進国、フィンランドでの出会い

インタビュー

橋本正明・ライヤさん

明治45年の創設から112年続く社会福祉法人「至誠学舎立川」(東京都立川市)。法人の8代目・前理事長で当法人評議員の橋本正明さんとライヤ夫人に今号は「登場戴きました。至誠学舎は、長い歴史のなかで、国の施策が変わるなかでも常に日本の福祉の第一線で時代を先取りし運営に取り組んできました。正明さんは高齢者福祉を学ぶためにフィンランドに留学、ライヤ夫人と巡り合いました。中学校時代から山登りを楽しみ、人と自然を大切に思う正明さんと、幾つもの言語に通じ、おあらかじめ懐深いライヤ夫人は今年金婚式を迎えました。北欧の国フィンランドと日本の意外な繋がりをお読みください。



——至誠学舎の100年以上にわたる歴史を教えてくださいませんか

正明 私の祖父にあたる創設者の稲永久一郎は福岡の大きな農家の長男でしたが、青雲の志で東京に来て苦労して事業を興しました。お菓子の卸業から始まり製造も行っていました。

1912年(明治45年)、30歳のときに浅草で警察官に取り押さえられていた少年と遭遇。苦勞してきた自分とも重なり身寄りのない子らを引き取り、自らの工場で手に職をつける取り組みを始めます。私的な更生保護活動で「学び舎(まなびや)」でした。1925年(大正14年)、少年法が出来て、少年保護団体の認可を受け、団体名を「至誠学舎」と命名。お菓子製造事業と並行して福祉事業に取り組みます。その間には大震災や戦災による火事、など困難を極めますが、戦中は耐寒食を研究・製造し軍に納めたりなどで事業を継続させてきました。

戦災孤児たちと遊んだ幼年期

——福祉の心と商才もあつたおじいさまだった

正明 ところが昭和21年、63歳で急逝してしまうのです。戦後、法律も変わり、創設者も亡くなり法人事業は終わってもおかしくない時でした。家族で話し合い、祖母が2代目となって社会福祉事業に集中。苦しい生活のなかでも家族で役割分担し、戦災孤児の児童養護施設と保育所、そして老人ホームの新規事業に注力。私自身は法人の混乱期に幼年期を迎え、戦災孤児たちと遊ぶ暮らしでした。

6歳のときに両親が養老施設「至誠老人ホーム」を開設。30数人のお年寄りとお母、寮母さん1人という家庭のようなホームでした。私たち3人の子

どもも一緒に暮らしました。

森と湖の街で育った

ライヤ 私は中央フィンランドのラウカーという森と湖に囲まれた田舎町で生まれました。私たち4人兄弟姉妹と両親、祖父母、そして母方の障がいを持つおじいさんや、家族のいない親戚の人が共に住む大家族でした。大昔はお手伝いさんも一緒に住んでいた頃もありました。1939年から1944年までのソビエトの侵略に抗した厳しい戦争に敗北して、カレリア地方の領土を割譲、避難民を国全体で受け入れたのです。私の家でも受け入れ、戦後土地も分け与えました。フィンランドの国民気質は素朴で「一緒に苦しみ、一緒に楽しむ」という助け合いの精神があります。

——フィンランドでの小中学時代はどのような様子でしたか

ライヤ 自宅から小学校までの距離は4キロメートルあり、寒いときはおばあちゃんが手綱をひいた馬ソリで行ったり学校が湖の向こうだったから手こぎボートで行っていましたよ。たくましかったです。

——絵本の世界のように!

ライヤ 家は農家でしたから長い休みには手伝いを必ずしていました。自分で豚も飼っていました。自分が育てた牛や豚と離れるときは悲しくてね。家に来る牛乳検査技師に憧れていましたが、中学校の先生から進学を強く勧められ受験して合格。その村から高校に進学したのは私の兄と私くらいしかいなかった。で進学の時は村中の人たち大勢ついてきて(笑)子どもは村人みんなで育てた時代でした。

——お2人の出会いをお聞かせください

正明 大学を卒業し、群馬県でソーシャルワーカーとして働き出して1年後、厚生省の森幹郎(もり・みきお)先生からユヴァスキュラ大学をご紹介いただきフィンランドに留学しました。

ライヤ その時私の兄は大学で彼の学部の教授の助手でした。私も同じ大学で言語学と政治学を学んでいて20歳で出会いました。その頃、私は外交官になるのが夢でした。

——遠く離れた国同士の結婚にフィンランドでのご家族の反対はありませんでしたか

ライヤ ほとんどはヨーロッパでしたが国際結婚は多かったので抵抗はありませんでした。フィンランドの家に度々訪れていた彼の誠実さを家族は知っていましたので母は「遠いけど行っておいで。うまくいかなかったら帰って

おいで!」と送り出してくれました。祖父は日本が好きでね。フィンランドは日露戦争でソ連が負けて独立できたんだと、日本の地名や歌などを畑仕事しながら教えてくれて。1964年の東京オリンピックの時は、学校で日本の勉強をしました。美術の先生は生け花を教えたり、くれたり、私は明治維新の論文を書いたりして、日本は私にとって遠い国ではありませんでした。

——そして結婚し渡日された

ライヤ 24歳で結婚し日本にきました。自然のなかで育った私にとって日本はなんてにぎやかで忙しい国!と驚きました。74年、オイルショックのときで当時は日本語も分からず一時、引きこもり状態になりましたが、日本語を学び今では日本は医療制度の充実もあり本当に良い国と思っています。

——正明さんにお聞きします。帰国後は、福祉の先進国と言われるフィンランドの福祉を導かれたそうですね

正明 認知症ケアと在宅サービス、グループホーム、ユニットケアはフィンランドで学び至誠ホームで実践しました。厚生省が研究のモデルとしてくれた。厚生省が研究のモデルとしてくれた。先駆的な事業展開ができました。でも今は日本も施策的にはすごく発展をしています。

——当法人尹基理事長との出会いはいつでしたか

正明 1990年代、至誠学舎で福祉セミナーを開催したときに講師としてお招きしました。日本社会事業大学の学長などを歴任された仲村優一先生のご紹介でした。

ライヤ 映画「愛の黙示録」の上映会をしたときもいらしてくださいました。

正明 歴史的で国際的な活動をされている方で、全然違うグローバルな世界の方という印象でした。ライヤさんと2人で共生園にも伺いました。園は歴史的な地盤や市民に支えられていることも伺って、また当時の田内緑園長(現・当法人常務理事)も明るく、豊かな自然環境もあいまって感慨深かったです。

——故郷の家では今、外国人の職員が活躍していますが至誠学舎ではいかがですか?

正明 至誠ホームでも多くの方が介護職員で働いてくれています。2024年7月現在で78人。国はスリランカ、ベトナム、インドネシアなどです。今や外国の方抜きには介護の現場は考えられない。2019年に出版社の西東社から出版された「写真とイラストですぐ分かる!はじめての介護」の監修をし和英対訳の要約版を発行しました。外国人職員には日本語の勉強にもなるかと好評です。ライヤさんも言語で監修に携わっています。これから日本はますます人材不足が深刻になり、外国の方は重要な働き手となると思います。社会福祉振興・試験センターが実施する介護福祉士の国家資格試験を受ける外国の方も増えています。

——8代目理事長になられてから役員75歳定年制を導入された

正明 戦後、法人が危機だったときは家族で支え持ち直しましたが、規模も大きくなると同族で経営する難しさ

もあり2000年法人分割をしました。そして介護保険導入に合わせ、役員定年制を導入。私も75歳で退任しました。1人が長くやると後を継ぐ人が大変ではないか?という思いもありました。「定年」という終わりが決まること次の人を「育てる」ことをしていくことができます。

ご利用者に潤いを

ライヤ 私は介護はできませんので、利用者に潤いをさしあげるクラブ活動をしています。ご利用者のお話を聞くことも嬉しいことの1つ。先日、英語クラブに参加された方がお亡くなりになったのですが、その方のご実家が網元だったことなど職員より私の方がよく知っています。

以前はフィンランドの人たちと文通もしていました。世界の勉強をしたり英語の勉強と一緒に賛美歌を歌うなど、ご利用者から笑顔を引き出せばと願いながら楽しんでます。コロナ禍で活動ができなくなり、今も完全に復活できていないことは寂しいことです。

正明 ライヤさんは明るく優しい人なのでどこに行ってもすぐに人気者になります。

——日本でのお仕事は

ライヤ 仕事としては東海大学の北欧学科で非常勤講師をしていましたが70歳で定年を迎えました。外務省ではフィンランドへ行く大使や外交官たちにフィンランド語を教えています。

——今のお楽しみはなんですか

正明 中学時代から山登りが好きでした。今では高齢者の健康作りのテニス教室に週1回、2人で朝6時半から通っています。また市民水泳教室にも毎週通っています。またホームの利用者から囲碁を習ったりしています。8月末には四国のお遍路に行きます。110ccの小さなバイクで1人ツーリングです。2年前、喜寿のお祝いに新しいバイクをライヤさんがプレゼントしてくれました。

ライヤ 6年前、孫たちから「フィンランド語を教えてください」と頼まれて6人の孫に個別に教えています。テキストも私が製作して大変だけど、言葉や文化を伝承するには継続が必要と忍耐強くやっています。今はスカイプがあるから便利です。とても楽しい時間です。3番目の孫は、将来フィンランドでパン屋さんをやりたいと言っていて応援したいな、と思っています。

(聞き手・横山まゆみ)

* (聞き手・まさあき)

橋本 正明 (はしもと まさあき) 社会福祉法人至誠学舎立川前理事長(第8代)・相談役、至誠実践福祉総合研究所所長。公益財団法人社会福祉振興・試験センター理事長。

1945年7月生まれ。69年明治学院大学社会福祉学科卒業。72年フィンランド・ユバスキュラ大学人文社会学部卒業。98年〜2011年、立教大学コミュニティ福祉学部教授、学科長・学部長歴任。

橋本ライヤ (はしもと らいや) 外務省研修所講師。東海大学北欧学科元非常勤講師。

1974年フィンランド・ユバスキュラ大学言語・政治学を学ぶ。同年5月、結婚し日本へ。75年〜77年国際基督教大学研究生、77年〜2020年東海大学北欧学科非常勤講師。03年〜外務省語学研修所講師

おひる

堺・大阪・神戸・京都・東京

「故郷の家」各施設のホットな話題をお伝えします

※各施設のブログもご覧ください。QRコードからどうぞ！

お疲れさまでした！ 朴正米施設長



故郷の家・神戸の施設長として異動になった朴正米施設長の送別会が6月26日、盛大に開かれました。

朴施設長は、当施設開設のすぐあとから施設長を6年9か月務め、様々な足跡を残してくれました。神戸でもご活躍されることでしょ

うが、職員やご利用者は一抹の寂しさを禁じ得ません。送別会では職員1人ひとりの贈る言葉で、声を詰ませ涙でコメントが続かない職員も。朴施設長の存在の大きさが伝わる送別会

でした。朴施設長、大変お世話になりました。故郷の家・神戸でのご活躍を祈っています！

東京



わたあめとハーモニカ
今年の七夕は日曜日。故郷の家・東京は、短冊を笹に飾るだけでなく、恒例のわたあめを利用者さんにごちそ

うし、喜んでいただきました。感激して泣かれる方もいらっしゃいました。今年はまだ一つ新しい出来事がありました。利用者さんの一人が得意のハーモニカを皆さんのために演奏して

くださいました。七夕の曲はもちろん、童謡、歌謡曲など楽譜など見ずに暗譜で全て吹いてくださいました。とても盛り上がった七夕の行事となりました。

神戸



地域の方も参加、父の日カラオケ大会



6月上旬、故郷の家・神戸では父の日「いつもありがとう」という労いの意味を込めてカラオケ大会を開催しました。ご利用者様だけではなく地域の方も参加され、好きな曲を歌っていただきました。



昼食に握り寿司、好評

6月中旬、神戸デイサービスでは昼食の際に握り寿司が提供されました。

7種類のネタを実際にその場で握るところを見たご利用者はとても喜んでいる様子でした。

自分の好きなお寿司をおかわりしているご利用者もいらっしゃいました。

「歌姫 東亜樹 特別コンサート」開催



7月27日、雲史ホールにて「歌姫 東亜樹 特別コンサート」が開催されました。

東(あずま)亜樹さんは高校2年生の16歳。4歳から歌を歌い始め、昔の曲から、新しい曲までジャンルを問わず、3000曲以上19ヶ国の曲を歌っておられます。中国、韓国の音楽祭にも多数出演され、数々の受賞歴も。今年6月には木浦共生園でもコンサートを開催されました。



当日、ホールいっぱい

に集まった観覧のお客様及び施設入居者様を前に、昔懐かしい曲からジャンルを問わず、さまざまな曲を披露してくださいました。聴いていた方々全員が拍手喝采でうちわを振って、アンコール!の大合唱。アンコールにも快く応えていただき、素晴らしいコンサートを堪能、皆さん大満足のご様子でした。最後にお花のプレゼント、記念撮影等を行い、出口で皆さんを見送っていただきました。

京都



「祇園祭ドライブ」楽しめました



7月10日〜7月13日に「祇園祭ドライブ」に行ってきました。

久しぶりのドライブに皆さん前日から楽しみにしておられ、いざ「出発！」

京都の街並みを見るだけでも、入居者様からは「(四条河原町付近)昔はよう来ていたけどなあ…」、「この店行ったことあるわ」など教えてくださったり、繁華街の外国の方の多さにとっても驚いておられました。

四条通りにおいて、実際に間近で山鉦を見ると、拍手しながら、とても感動。「大きいなあ」「あれは長刀鉦言うねん」「鉦に人がいっぱい乗ってはる」と口々に言われ、2日目に行かれた方は鉦が動いている貴重などころも見られて、とても喜んでおられました。

堺



納涼祭で暑気払い!



7月26日(金)、外の気温は体温を超えるような暑い一日。堺では賑やかに納涼祭のイベントが行われました。

おりしもコロナの11波が心配されていた時期でもあり、フロア別での開催でしたが、お祭りらしく飾り付けられたフロアや法被姿の職員に「何時から始まるんや?」と待ちきれないご様子の利用者様も。ダーツやもぐら叩きゲームを楽しまれ、ノンアルコールビールやラムネなど、普段とは違う飲み物をそれぞれお好みで選んでいただき、たこ焼きや焼きそば、チョコバナナにソーセージの屋台メニューに舌鼓を打たれました。

カラオケや最後のビンゴゲームも大盛り上がり!あちこちで利用者様の笑顔がたくさん見られた一日でした。



おごそかなハーモニーにうっとり!

7月5日(金)、在日本大韓民国婦人会大阪府地方本部よりオモニコーラスの皆様が訪問され、本格的な合唱曲の数々をご披露いただきました。

美しい声の素晴らしいハーモニーに、ホールに集まったご利用者様はみんなうっとり。「あんなに綺麗な、高い声がよく出せるんやなあ」「衣装も素敵やね」と感動されていました。天井からの光が降り注ぐホールにおごそかな歌声が響き渡り、夢のようなひと時を職員も一緒に過ごさせていただきました。オモニコーラスの皆様、ありがとうございました(表紙にも写真)

❖ 共生園（養護施設）

「演歌の神童」東亜樹さんご来訪



6月8～9日、共生園では「演歌の神童」と呼ばれる歌手の東亜樹さんの公演が行われました。「木浦の涙」や子ども目線に合ったアニメの主題歌、ご本人の強みである複数言語を使った世界各国の歌など、いろんな歌で木浦市民やファンに感動を与えてくれました。

公演終了後、お忙しいスケジュールにもかかわらず、子どもたちに直接サインもして下さり、お菓子や日用品などのプレゼントもいただきました。さらに故郷の家・東京も訪れて慰問コンサートをし、共生園の広報大使になることを約束してくれたそうです。日韓文化の伝道師になるという夢が叶うよう応援します。

❖ 共生再活院（知的障害者施設）

国立長城森体園 1泊2日ヒーリング旅行

日常から抜け出し、フィトンチッドが満ち溢れる夏の林道を歩きました。

リスにも出会い、鳥の鳴き声も聞こえて自然と一体になった感じです。

ハンカチやブレスレットを作ったり、松の木のブロックを積み上げたりして楽しい時間を過ごしました。

なでなでこころトーク「陶芸教室」

木浦市福祉館で行われる「障害者の学び教室」に7名の利用者さんが週2回参加しています。毎週新しい陶芸作品のテーマを決めて作り、本焼きまでのすべての工程を学び、新しい経験をしています。



❖ 木浦障害者療養院（重度障害者施設）

夏の始まりを知らせる「夏キャンプ」



一緒に生活するチームごとに行う「夏キャンプ」で夏が始まります。太陽の光が降り注ぐ海で夏を楽しむチーム、室内プールで涼しげな夏を楽しむチーム、閑静なペンションで和やかな時間を過ごすチームと様々です。各自のスタイルでいろんな夏を過ごす療養院の夏は、暑くても幸せな思い出でいっぱいになります。サラン（愛）チームの女性たちの今年の夏キャンプは「空星海ペンション」と「回山白蓮池」で行われました。気持ちいい水遊びをしたり、美しい蓮を眺めたりしてみんなずっと笑顔でした。



皆様のご支援に感謝申し上げます



2024年6月～7月 寄付合計 2,436,854円

堺	171,822	円	京 都	800,000	円
大 阪	2,000	円	東 京	271,120	円
神 戸	41,492	円	法 人	1,150,420	円

2024年6月～7月の寄付者 (敬称略)

錦織 葆 鈴木 仁 佐藤 友美 韓国生命運動連帯 多田出 佳代子 土肥 正明 匿名希望者 柚 浩二 北脇 志郎 北脇 要子 黒木 保博 大澤 勝哉 藤原 一臣 李 守陳 中村 啓子 藤田 裕之 星田 正雄 金 慶光 ペン株式会社	金氏高麗人参株式会社 (有)テラヲ貨物店 松下 令子 佐藤 美津子 田内 緑 太田 清孝 梅宮 玉枝 ㈱スポーツ寿苑 代表 取締役 鄭 貞子 ながやま歯科 永山 成大 日山 孝一 CITS JAPAN株式会社 中国経済学会代表団 瀧澤 織衣 柳川 良子 炭谷 茂 李 善恵 三宅 英雄 枝川 愛の教会	株式会社ヤマエンター プライズ代表取締役 池 正淑 多胡 元喜 「ハートサービス運 動」募金箱 オートプロ島田 島田 隆男 山田 正浩 佐藤 孝之 浅野 和子 小寺 顕一 高林 實結樹 ㈱グローバル代表取締役 川島 忠義 大島 仁 順天北部教会青年部 東谷 英一 金森 亨 田内 基	単立キリスト教八街 グレイス教会 申 鉉錫 藤原 興 岡 真由美 峯岸 義則 青木 茂 宮原 智文 小西 孝蔵 徐 鍾煥 池田 征一郎 四宮 章夫 埼玉コリア21 小川 満 小川 厚子 瀧田 茂子 牧角 雅子 宋 基泰 南区認知症サポート ネットワーク	陶化まちづくり実行委 員会 防災部 明治学院大学 社会学 部社会福祉学科 故郷の家・京都募金箱 京都保護育成会 理事長 金 有作 大韓老人会日本連合会 京都支部大韓シル バー会 大伸株式会社 パク ミョン Chol 青山 洋 観寺 伊津美 小林 四郎 増山 律子 松田 洋子 成 美羅
--	---	--	---	---

2024年6月～7月の寄贈者 (敬称略。すべての方のお名前を記しているわけではありません。ご了承ください)

■故郷の家(堺) 柳生 民枝ご家族 武吉 文子ご家族 田中 フサエご家族 井上 清之ご家族 大仲 玲子ご家族 澤田 和代ご家族 田中 キノエご家族 高木 英宏ご家族 アサ子ご家族 加藤 憲司ご家族 半田 和子ご家族 松葉 恵美子ご家族 野町 正子ご家族 大井 敏子ご家族 山本 耕一ご家族 ながやま歯科 永山 成大 医療法人錦秀会福祉部 泉北陣内病院 社会医療法人ペガサス サン朝日 Door&Q 東谷	株式会社テストイパル レバレッジメディカルケア(㈱) 岩槻 和秀 かなばら果樹園 金原 正 あゆみ介護センター 金 一姫 在日本大韓民国婦人会 大阪府地方本部オモニ コーラス会長 朴栄子 仏光殿 メンズショップマルシン 片山 湯川歯科	■故郷の家・神戸 林 水子 津田 千恵子 上田 順子 ファーストリネン めぐみなチャペル 中道リファイン薬局	多間 みゑ子ご家族 羽谷 宗一ご家族 降幡 弘志 ウィルオブワーク 松上 秀夫 漢陽大学 金鍾 杰 中本 善夫 中村 美佐子ご家族 重野 愛美 張 守行ご家族 村上 順子ご家族 木村 勝利 (株)川嶋本店 大村 春子ご家族 小嵐 真美子ご家族 田中 佐 荻原記念病院 村尾 卓也	■故郷の家・京都 元生 信子ご家族 岡本医院 利川 貞子ご家族	マリン薬局 河原町店 野田 頼子ご家族 シティライフサービス 村田 智子ご家族 (株)ウィルオブワーク 村上秀夫 東原 三郎ご家族 医療法人同仁会 松井道宣 鄭 連順ご家族 澤田 千代ご家族 林 順子ご家族 高山 敬子ご家族 青木 志津子ご家族 的場 みち子ご家族 田中 千代子ご家族 安東 幸男ご家族 伊原 珠枝ご家族 西澤 達子ご家族 武本 鶴子ご家族 張 秋子ご家族 松本 浪子ご家族 小野 ツヤご家族	■故郷の家・東京 小船井 ハツイご家族 佐藤 那可子ご家族 神田 英資ご家族 松島 れい子ご家族 信 栄子ご家族 金谷 奉姫ご家族 金 淑貞ご家族 芳賀 初子ご家族 根津 仁香 富山 トシ子ご家族 南ソウル教会 Ohana治療院 まごころ屋 平安祭典 ekoデンタルクリニッ ポスジョパン株式会 社代表取締役社長 金 相均 株式会社テストイパル 韓国江陵原州大学社会 福祉課
--	---	---	--	---	--	---

2024年6月～7月の来訪者・ボランティア (敬称略)

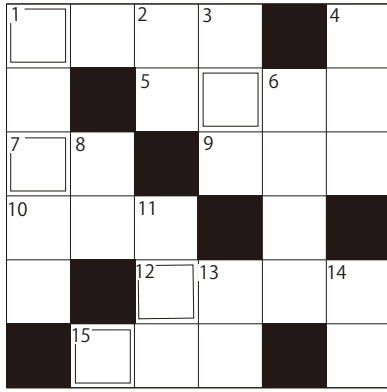
■故郷の家(堺) 泉北恵み教会 松本 光恵 小田 ヒターナ 在日本大韓民国婦人会大 阪府地方本部オモニ コーラス	■故郷の家・神戸 サランの会 大藪 共基 関 京子 山本 公一 戸田 和子 永田 いずみ 益本 アユ子	橋元 友季子 有吉 秀子 藤井 三枝 めぐみな教会 ヒマナハワイアンズ	■故郷の家・京都 鄭 仁淑	「懐メロ聴くの会」3名 傾聴ボランティア 京都PANA-ALC 3名 傾聴ボランティア SKY傾聴ボランティア サークル 1名 東 亜樹	■故郷の家・東京 村上 里子 中島 榮美 金 在真 金 明均 大島シオン教会 勝山牧師 東部教会 鄭牧師 枝川愛の教会 趙牧師
---	---	---	-------------------------	--	--

◆ クロスワードパズル ◆

※前回の答えは「パピリオン」でした。

【ヒント＝開会式の舞台に】

二重マスの文字を組み合わせてできる言葉を答えてください。



- ① 天下分け目の戦い。
 ② 晴れた日、曇った日：毎日さまざまな表情を見せてくれますね。
 ③ 羊毛。
 ④ 朝ドラ「虎に翼」の主人公は日本の女性で初めて——に。
 ⑤ 有名な寺。
 ⑥ やりかたが念入りでなく、大ざっぱなこと。
 ⑦ 今日雨で洗濯物——が悪い。
 ⑧ 長方形の面積は——×——。
 ⑨ ⑭の駅には地元の野菜やおいしいものがいっぱい。

タテのカギ

ヨコのカギ

- ① オリンピックの期間中も世界のあちこちで——が絶えませんでした。
 ⑤ 塩、味噌、それとも醤油？
 ⑦ 多くの子供達が犠牲になっている——地区。
 ⑨ 似ていること。
 ⑩ ハーブの一種。強い清涼感が特徴。
 ⑫ 日本神話の海の神。
 ⑮ 日本古来の代表的な泳法のひとつ。

プレゼント



正解者の中から2名さまに、古墳で知られる堺らしい木製の「古墳ストラップ」を。埴輪型と前方後円墳型のうちどちらかを。

応募は、クロスワードパズルの答、住所・氏名・電話番号をお書きのうえ、はがきなら〒590-0142堺市南区檜尾3360-12「故郷の家・クイズ係」へ、メールでの応募はnews@kokorono.or.jpへどうぞ。10月10日締め切り。
 本誌をお読みになった感想、メッセージなどもどうぞお書き添えください。お待ちしております！

共に希望に生きる

人は、誰しも懐かしい思い出に満ちたふるさとをもっている。ふるすとは、生まれ育った所であると同時に「帰る」所であろう。人生の喜びと悲しみ、栄光と重荷を背負って帰り着くところがふるさとであれば、なんと素晴らしいことではないか。そこでは、経験を分かち合い、共に希望をもって生きることができる。
 (阿部志郎・神奈川県立保健福祉大学名誉学長)

こころの家族のサポーターになってください

- A) 愛の寄付金 自由な金額
 B) 遺贈寄付 自由な金額
 C) 相続寄付 自由な金額
 D) 賛助会員 月1,000円(年1万2千円)
 E) 奨学会会員(留学生や孤児・障害児支援) 月5,000円(年6万円)
 F) 1%会員(所得、売上、祝儀、遺産、感謝)
 G) 1坪会員(施設の新築・改築や環境改善支援) 30万円

ご送金の方法

郵便振替 □座番号：00940-0-329280
 加入者名：社会福祉法人こころの家族
 銀行振込 銀行名：三菱UFJ銀行
 支店名：光明池支店 普通 1052623
 □座名義：社会福祉法人こころの家族

寄付申込書

年 月 日

*この申込書を FAX でお送りいただくか下記施設まで郵送をお願いします。

FAX 072-271-5474 または 03-3644-0556

ふりがな
お名前

連絡先 〒

TEL

(自宅・会社)

FAX

ご寄付内容 ※具体的な支援先や事業名があれば、口数や金額とともに記入してください。

- 例1：●(B・賛助会員)として(2)口、(年2万4千)円を寄付します。
 例2：●(E・1坪会員・堺)として(1)口、(3.5万)円を寄付します。

●()として()口、()円を寄付します。

お気軽に
お問い合わせ
ください。

故郷の家のご利用相談や
寄付。困っている高齢者、
留学生、外国籍の方も

■故郷の家(堺) 辻野やす子(施設長)
 大阪府堺市南区檜尾3360-12 TEL 072-271-0881
 ブログ <http://kokyosakai.blog40.fc2.com/>

■故郷の家・大阪 田中久美子(主任ケアマネ)
 大阪府大阪市生野区中川2-4-26 TEL 06-6753-6580
 ブログ <http://kokyoosaka.blog79.fc2.com/>

■故郷の家・神戸 朴正米(施設長)
 兵庫県神戸市長田区東尻池町7-4-21 TEL 078-651-1555
 ブログ <http://kokyokobe.blog40.fc2.com/>

■故郷の家・京都 藤原一臣(特養施設長)、金滋榮(ケアハウス施設長)
 京都府京都市南区東九条南松ノ木町47 TEL 075-691-4448
 ブログ <http://kokyokyoto.blog41.fc2.com/>

■故郷の家・東京 高橋千津子(特養施設長)、塩川優子(ケアハウス施設長)
 東京都江東区塩浜1-4-48 TEL 03-3644-0555
 ブログ <http://kokyotokyo5.blog.fc2.com/>

本法人は統一教会とは関係ありません

